

YA…Young Adult【ヤングアダルト】の略で、
12才～19才くらいの人たちをさす言葉

YAだより

Vol.36

令和8（2026）年7月発行
船橋市東図書館



特集

「怖い話でひんやり」
「こんなバイトってあり!？」
「戦争・災害 命について考える」

ここで紹介した本は、東図書館に所蔵があります。
貸出中のものは予約もできるので、ぜひ手に取ってみてね。

特集 「怖い話でひんやり」

夏はやっぱりホラー。



『夏と花火と私の死体』

乙一/著

集英社

集英社文庫

F/オ



9歳の夏。健くんに恋をしていた。

それを親友に打ち明けた直後、私は殺された。その親友の手によって…。

親友は私の死体をどう隠すのか。大人たちからどう逃げ切るのか。

殺された「私」の視点で語られる、手に汗握る4日間！

解説は、ホラーといえど！の小野不由美さんです。

『迷路を解いたら怖い話』

藤白圭/作

浮雲宇一/絵

静山社

F/7シ



右側のページに100字の超短編、左側のページにその短編を迷路にしたものが載っています。一見怖くないと思いきや、迷路をクリアすることで物語の本当の意味が見えてくるという、ジワジワ怖い本です！

迷路の答えと一緒に解説も載っているので、迷路やパズル系が苦手なあなたにもオススメ！

特集 「怖い話でひんやり」

夏はやっぱりホラー。



『怖い標識デスゲーム』
藤白圭/著
トミイマサコ/イラスト
河出書房新社
F/73



あなたは、街や道路に立っている標識の意味を全て理解していますか？

この質問の答えが「NO」だったなら、あなたの前にも、この世界のルールを監視するかわいいウサギさん「シグナール」が現れるかも…。

標識をテーマにしたデスゲームが、いま始まる！

トミイさんのイラストに惹かれたら、是非読んでみてください(´・ω・`)b☆

『#140字小説 - 「1話30秒」の意味が分かったゾクッとする話 -』
方丈海/著
ワニブックス
F/杓



140字で気軽にひんやりしませんか？

SNSのタイムラインや縦型動画を眺めるようにサクッと読める、100話以上のホラー短編があなたを待っています。

怖い話だけかと思いきや、ちょっとギャグ寄りの話も入っているところが楽しい！

YA担当のお気に入りの話は「火に油」です。

特集

「こんなバイトってあり!？」

青春モノからデスゲーム
まで。



『恋とポテトと夏休み
Eバーガー!』
神戸遥真/著・作
おとないちあき/絵
講談社
F/コウ



受験に失敗し、なんとか受かった学校
でどんより過ごす優芽。夏休みの予定
もなく落ち込んでいたある日、憧れの
先輩にそっくりの人が目の前に! バイ
トの面接に来たと勘違いされたうえ、
なぜかそのまま受かってしまい…。
千葉市が舞台で、聞きなれた駅名がた
くさん登場!一緒にバイトをしている
ような感覚になれる青春ストーリー
(。・H・。)♪

『天国にたまねぎはない』
久米絵美里/著
幻冬舎
F/クメ



一足早く天国に行ってしまったとい
くによると、天国では幸せでいなければ
ならないので、涙が禁止。なので玉ね
ぎも禁止…らしい。そんななか「天国
に玉ねぎを密輸するバイト」を持ちか
けられた主人公は…。
タイトルと設定で気になったら、是非
読んでみてください♪
「世界一ソース」など、玉ねぎを使っ
たレシピが出てくるところもかわい
いです。

特集

「こんなバイトってあり！？」

青春モノからデスゲーム
まで。



『100億円求人』
あんのまる/作
moto/絵
KADOKAWA
角川つばさ文庫
F/アン



ただの中学生の僕の首には「首輪」がついている。この首輪はボタンひとつで爆発する。外すには100億円が必要だ。そんな夏休み初日、廃工場で見つけたとある求人には「報酬：100億円」の文字が…。

求人で集まったのは、腕っぷし担当、作戦担当、ハッカーに偽造師。最強の4人がそろって、超スリリングな夏が始まった！

騙されたい人は読んでみてください！

『下積み図鑑 すごい人は無名のとき何をしていたのか？』

真山知幸/著
伊達努/イラスト
笠間書院
280/7



「長い下積み時代を経て…」 「あの頃はバイト生活で…」 みたいな言葉、よく聞きますよね。では、石川啄木の下積み時代を知っていますか？（唐突）

この本には、色んな人の、有名になる前の話が載っています！

学校が苦手だったり、やりたくない仕事をしていたり、好きなことをしているはずなのに苦しかったり…そんな気持ちになった経験のある人にオススメの本です。

特集 「戦争・災害 命について考える」

夏だから。
夏じゃなくても。



『僕らは戦争を知らない
世界中の不条理をなくすた
めにキミができること』

小泉悠/監修

Gakken

319.8/本



日々、戦争や紛争などによって多数の被害者・犠牲者が出ています。では、なぜそのようなことが起こってしまうのでしょうか。それらは本当に遠い場所の話なのでしょうか。当たり前前の平和をこれからも保つために必要なこととは何でしょうか。

中東情勢の影響や憲法改正などが話題となる今、ぜひ手に取ってほしい一冊です。

『戦争が終わり、そして子ども
たちの戦いが始まった 戦後80年
を生き抜いた戦争孤児の物語』

PEACE BOOK①』

長谷川敦/著

旬報社

210.75/本



戦争当時、空襲や原爆で両親を失った子どもたちが大勢いました。その数は12万人以上といわれています。彼らにとって、戦争が終わることは、平和の始まりとイコールではなく、むしろそこから「生き抜くための戦い」が始まりました。当時を知る人や当事者の声を、実際の写真なども交えて掲載しています。

特集 「戦争・災害 命について考える」

夏だから。
夏じゃなくても。



『大切な人は今もそこに
いる ひびきあう賢治と
東日本大震災』
千葉望/著
理論社
369.3/4



『銀河鉄道の夜』などで知られる宮沢賢治は岩手県花巻市で生まれました。その年は、東北地方で大きな地震や津波があったそうです。その後も冷害に見舞われたほか、彼の亡くなった年にも大地震が起きており、災害を経験することの多い人生だったといえます。

そんな賢治の作品を、2011年の東日本大震災の体験談と重ねて読む一冊です。

『マンガでわかる災害の日本史』
磯田道史/著
河田恵昭/監
備前やすのり/マンガ
池田書店
210.17/1



かの有名な豊臣秀吉が大地震にあっていたことを知っていますか!? (●_●)
YAだよりを読んでいる皆さんの中には「大きな災害を経験したことがない」という方もいるかもしれません。そんな方にはこの一冊! 実際にあった歴史上の大災害、これから起こるかもしれない大災害をマンガで解説しています。

担当より

毎日暑いですね。1リットルの水筒がほしいと思っているのですが、いい感じのものに出会えず、結局ペットボトルを使っているYA担当です。

5/10（日）に「ウミガメのひみつ」トークショーを開催しました！

農学博士でイラストレーターのきのしたちひろさん、ふなばし三番瀬環境学習館・科学コミュニケーターの大瀧学芸員をお招きして行ったこちらのイベント。お二人の専門分野である海の生き物についてはもちろん、今のお仕事をやるまでの道のりなどについても対談形式で語っていただきました！みなさんの進路選択の助けになっていたら嬉しいです。ありがとうございました
(*´▽`*)

お二人の話を聞いて思いましたが、進路について「これは好きだな」「これは苦手だな」とか、そういう大ざっぱなところから考えるのもいいですよ。それに、目指すものは必ずしもひとつである必要はないですし、なるべく楽しい方、自分の納得できる方へ進んでいけるといいですよ。周りの人に相談してみたり、図書館のYAコーナーで進路についての本を読んだりするのもオススメです！（宣伝）（ぜひ来てね）（図書館涼しいよ）

ではまた次号で(◡‿◡)ノ♪



YAだよりVol.36 令和8（2026）年7月発行
船橋市東図書館 YA担当 ☎047（463）3611

X



HP



Facebook

